



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 フジ日本精糖株式会社

コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船越 義和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部本部長 (氏名) 佐塚 真弘

TEL 03-3667-7811

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	9,825	△1.4	442	△26.9	522	△10.7	378	△1.9
28年3月期第2四半期	9,962	1.4	605	64.9	584	17.8	385	15.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 89百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △61百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	14.09	—
28年3月期第2四半期	14.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	22,282	15,734	70.9
28年3月期	22,510	15,887	69.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 15,794百万円 28年3月期 15,687百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	6.1	1,000	4.3	1,100	14.8	750	20.2	27.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	29,748,200 株	28年3月期	29,748,200 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	2,895,704 株	28年3月期	2,895,576 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	26,852,571 株	28年3月期2Q	26,853,438 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による財政及び金融政策を背景に雇用・所得環境が改善し、景気は総じて緩やかな回復基調にあるものの、円高の進行により企業収益の改善が停滞するなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

精糖業界においては、海外原糖相場の高騰や加糖調製品、異性化糖及び他甘味料の浸食などにより、厳しい販売環境が続いております。

このような環境下、当社グループは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高め、砂糖では製品の安定供給に取り組んでまいりました。また、機能的食品は高付加価値提案型の販売活動に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,825百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益442百万円（同26.9%減）、経常利益522百万円（同10.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は378百万円（同1.9%減）の減収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 精糖

精糖事業においては、5月の大型連休を控えた需要により順調に推移いたしましたが、夏場の猛暑や大雨、台風の影響により、販売数量は前年同期を若干ながら下回りました。さらに、コスト面では海外原糖相場の高騰により、製造コストが上昇いたしました。

以上の結果、精糖事業の業績は、販売数量は減少したものの販売単価が上昇したことにより、売上高6,217百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益690百万円（同2.1%減）の増収減益となりました。

#### ② 機能的素材

機能的食品素材イヌリンについては、新規採用やタイ産イヌリンへの切り替えは引続き順調に増えているものの、既存の大手ユーザー向けの販売数量が伸び悩んだことにより減収となりました。連結子会社ユニテックフーズ(株)は主力製品のゼラチンで低調な荷動きとなったことやOEM事業の数量減などにより減収となりました。

以上の結果、機能的素材の業績は、売上高3,256百万円（前年同期比6.0%減）、営業損失50百万円（前年同期営業損失14百万円）の減収減益となりました。

#### ③ 不動産

不動産事業の業績は、売上高300百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益267百万円（同2.7%増）の増収増益となり、引続き安定収益確保に貢献いたしました。

#### ④ その他食品

その他食品は、DAY PLUS (THAILAND) Co., Ltd. の製パン事業であります。前期末に連結子会社となったため、前年同期比較は省略しております。当第2四半期の業績は売上高51百万円、営業損失54百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1.0%減少し、22,282百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

#### ① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ4.2%増加し、9,673百万円となりました。これは主に現金及び預金、原材料及び貯蔵品の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ4.7%減少し、12,609百万円となりました。これは主に有形固定資産に含まれる建物及び構築物、機械装置及び運搬具の減少等によるものであります。

#### ② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ0.6%増加し、4,111百万円となりました。これは主に買掛金、短期借入金の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ4.0%減少し、2,436百万円となりました。これは主に役員退職慰労金制度廃止に伴う役員退職慰労引当金の減少等によるものであります。

#### ③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.0%減少し、15,734百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、その他有価証券評価差額金が減少したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ157百万円増加し、2,965百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、252百万円(前年同期比69.8%減)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の計上、たな卸資産の増加等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は、148百万円(前年同期130百万円支出)となりました。これは主として、有形固定資産の売却による収入等によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、239百万円(前年同期比0.1%増)となりました。これは主として、配当金の支払額、短期借入金の返済による支出等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年4月28日付け公表の通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,485,325	2,664,909
受取手形及び売掛金	2,402,539	2,414,344
有価証券	323,111	300,929
商品及び製品	1,612,323	1,678,058
仕掛品	204,095	175,020
原材料及び貯蔵品	945,201	1,137,547
その他	1,315,968	1,305,947
貸倒引当金	△3,620	△3,517
流動資産合計	9,284,945	9,673,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	969,309	794,000
機械装置及び運搬具(純額)	1,370,199	907,052
土地	2,048,834	2,046,860
建設仮勘定	38,599	80,306
その他(純額)	97,010	113,799
有形固定資産合計	4,523,952	3,942,019
無形固定資産		
のれん	512,640	453,293
その他	76,023	84,856
無形固定資産合計	588,663	538,149
投資その他の資産		
投資有価証券	5,805,342	5,795,613
関係会社長期貸付金	2,078,347	2,098,326
その他	267,457	266,482
貸倒引当金	△37,806	△31,491
投資その他の資産合計	8,113,341	8,128,930
固定資産合計	13,225,958	12,609,099
資産合計	22,510,903	22,282,340

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,451,251	1,578,273
短期借入金	1,296,387	1,311,901
未払法人税等	317,892	309,378
賞与引当金	104,783	108,001
その他	915,418	804,115
流動負債合計	4,085,732	4,111,670
固定負債		
長期借入金	1,258,468	1,176,611
役員退職慰労引当金	172,354	-
退職給付に係る負債	59,102	59,589
資産除去債務	64,686	65,009
その他	983,076	1,135,328
固定負債合計	2,537,688	2,436,539
負債合計	6,623,420	6,548,210
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,530,171	2,530,171
利益剰余金	10,773,108	10,909,862
自己株式	△716,921	△716,978
株主資本合計	14,110,817	14,247,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,525,527	1,500,282
為替換算調整勘定	93,726	85,004
退職給付に係る調整累計額	△42,712	△38,768
その他の包括利益累計額合計	1,576,540	1,546,519
非支配株主持分	200,123	△59,904
純資産合計	15,887,482	15,734,130
負債純資産合計	22,510,903	22,282,340

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,962,862	9,825,854
売上原価	7,722,483	7,671,304
売上総利益	2,240,379	2,154,549
販売費及び一般管理費	1,635,237	1,712,179
営業利益	605,142	442,369
営業外収益		
受取利息	20,939	18,425
受取配当金	32,856	40,244
持分法による投資利益	-	78,218
その他	21,151	21,496
営業外収益合計	74,947	158,385
営業外費用		
支払利息	18,139	16,656
為替差損	63,952	53,963
持分法による投資損失	6,919	-
その他	6,248	7,956
営業外費用合計	95,258	78,576
経常利益	584,831	522,179
特別利益		
固定資産売却益	-	143,959
投資有価証券売却益	1,770	121,047
特別利益合計	1,770	265,006
特別損失		
固定資産除却損	159	0
減損損失	-	338,081
投資有価証券評価損	-	12,736
特別損失合計	159	350,817
税金等調整前四半期純利益	586,441	436,368
法人税、住民税及び事業税	298,295	301,986
法人税等調整額	△10,127	9,247
法人税等合計	288,167	311,234
四半期純利益	298,273	125,133
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△87,651	△253,294
親会社株主に帰属する四半期純利益	385,925	378,428



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	298,273	125,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△278,831	△25,244
為替換算調整勘定	△80,908	△14,514
退職給付に係る調整額	442	3,944
その他の包括利益合計	△359,298	△35,815
四半期包括利益	△61,024	89,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,036	348,886
非支配株主に係る四半期包括利益	△124,060	△259,567

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	586,441	436,368
減価償却費	168,000	201,547
のれん償却額	53,994	59,347
減損損失	-	338,081
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,002	3,218
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,912	△6,417
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△22,830	△172,354
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	6,170
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△11,595	-
受取利息及び受取配当金	△53,796	△58,670
支払利息	18,139	16,656
為替差損益(△は益)	63,127	54,787
持分法による投資損益(△は益)	6,919	△78,218
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,770	△121,047
投資有価証券評価損益(△は益)	-	12,736
固定資産除却損	159	0
固定資産売却損益(△は益)	-	△143,959
売上債権の増減額(△は増加)	△22,768	△12,227
たな卸資産の増減額(△は増加)	526,878	△238,686
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,520	15,119
仕入債務の増減額(△は減少)	△303,306	128,945
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△19,648	△73,212
その他	5,608	145,892
小計	989,124	514,077
利息及び配当金の受取額	78,345	61,589
利息の支払額	△16,934	△17,625
法人税等の支払額	△216,202	△306,006
営業活動によるキャッシュ・フロー	834,332	252,034

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	2,000	-
有形固定資産の取得による支出	△57,097	△143,711
有形固定資産の売却による収入	-	182,804
無形固定資産の取得による支出	△1,700	△20,265
投資有価証券の取得による支出	△654	△711
投資有価証券の売却及び償還による収入	10,187	162,311
長期貸付金の回収による収入	506,722	500,170
長期貸付けによる支出	△573,232	△530,793
その他	△16,611	△1,335
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△130,386</b>	<b>148,468</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	182,310	45,600
長期借入れによる収入	-	54,112
長期借入金の返済による支出	△179,097	△97,379
自己株式の取得による支出	△565	△56
配当金の支払額	△241,689	△241,673
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△239,042</b>	<b>△239,397</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,435	△3,702
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	461,468	157,403
現金及び現金同等物の期首残高	2,191,450	2,808,436
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,652,919	2,965,839

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性素材	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,199,954	3,464,991	297,917	9,962,862	—	9,962,862
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	827	827	△827	—
計	6,199,954	3,464,991	298,744	9,963,689	△827	9,962,862
セグメント利益又は損失(△)	705,468	△14,245	260,856	952,079	△346,936	605,142

(注) 1 セグメント利益の調整額346,936千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,217,362	3,256,495	300,926	51,070	9,825,854	—	9,825,854
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	827	—	827	△827	—
計	6,217,362	3,256,495	301,753	51,070	9,826,681	△827	9,825,854
セグメント利益 又は損失(△)	690,410	△50,101	267,994	△54,417	853,886	△411,516	442,369

(注) 1 セグメント利益の調整額411,516千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「機能性素材」セグメントにおいて338,081千円の減損損失を計上しております。